

カメラで撮影する

このカメラでできること

E08Tは有効画素数約319万画素のCMOSカメラを搭載し、フォトやムービーが撮影できます。また、マクロモードにすることで、近距離でもフォト撮影やムービー録画ができます。撮影したフォトやムービーはEメールに添付して送信できます。

■ フォトでできること

用途に合わせてフォトサイズや画質設定を選択できます。

フォトサイズ: 横×縦(ドット)	画質設定	容量(目安)	保存可能 枚数(目安)
壁紙(標準): 240×320	ノーマルモード 固定	25KB程度	1,500枚
壁紙(ワイド): 480×800		100KB程度	1,024枚
壁紙(フルワイド): 480×854		120KB程度	853枚
0.3M: 640×480*		80KB程度	1,280枚
1M: 1,280×960*	ファインモード	450KB程度	227枚
	ノーマルモード	225KB程度	453枚
2M: 1,600×1,200*	ファインモード	700KB程度	146枚
	ノーマルモード	350KB程度	292枚
2.5M(フルワイド): 2,048×1,152*	ファインモード	800KB程度	128枚
	ノーマルモード	400KB程度	256枚
3M: 2,048×1,536*	ファインモード	1,200KB程度	85枚
	ノーマルモード	600KB程度	170枚

*「保存方向」を「横長」にした場合の数値です。「縦長」にすると、縦の長さや横の長さが逆になります。



○ファインモードは、細部を詳細に表現できるプリント出力向きの設定です。

■ ムービーでできること

録画モードによって、ムービーのサイズを選択できます。

○:Eメール添付可 △:サイズを変換してEメール添付可

録画モード	録画サイズ: 横×縦(ドット)	録画可能時間	Eメール添付
高品質L	176×144	最大15秒	○
QVGA	320×240	最大約120分*	△
VGA	640×480	最大約90分*	△

*市販品のmicroSDメモリーカード(512MB~8GB)をセットした場合の録画可能時間です。ただし、録画条件やmicroSDメモリーカードの容量により録画可能時間は異なります。

■ プリントできます

microSDメモリーカードに保存した画像をプリンターやDPEショップでプリントできます。また、E08TはDPOF規格に対応しているためプリント枚数を指定できます(▶P.273)。

- DPOF(Digital Print Order Format)規格対応
- Exif Print対応
- PIMⅢ(PRINT Image Matching Ⅲ)対応

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- E08Tを暖かい場所に長時間置いていて画像を撮影したり、保存したときは画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。

- ・撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・携帯電話のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・標準撮影/マクロ撮影の切り替えができます。マクロモードを設定した場合は、約10cmまで被写体に近付いて撮影できます。また、マクロモードを設定したまま通常の撮影は行わないでください。画像がぼやける場合があります。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・強い逆光のもとにある被写体
 - ・光沢のある金属など明るく反射している被写体
 - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - ・暗い場所にある被写体
 - ・動きが速い被写体

- ・モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。
- ・マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、一時停止時、終了時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- ・カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な連続音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- ・フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- ・動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- ・被写体によっては、うすい縞模様が入ることがありますが、保存する画像には影響ありません。
- ・プレビュー画面を表示したり、カメラを切り替えたり、カメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- ・お客様がE08Tのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例/迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

フォトを撮影する

1 待受画面で \square (1秒以上長押し)

フォトモニター画面が表示されます。

\odot :ズームイン/ズームアウト(ズームの倍率と段数については、「カメラ」▶P.342)をご参照ください。

\odot :明るさの調整(「+2.0」～「-2.0」まで調節できます。)

\square / \square (半押し):オートフォーカスロック

\square :キー操作ガイドの表示ON/OFF

\square :モバイルライトON/OFF



《フォトモニター画面》

2 \odot (撮影) / \square

シャッター音が鳴り、フォトプレビュー画面に撮影した画像が表示されます。

3 \odot (保存)

本体内またはmicroSDメモリーカード内のデータフォルダに保存されます。



《フォトプレビュー画面》



memo

○ フォトプレビュー画面やそのサブメニュー画面で約1分間何も操作しないと、撮影したフォトを一時的に保存して、カメラが終了します。次回カメラを起動したときに、フォトプレビュー画面が表示されます。

オートフォーカスロックについて

○ フォトモニター画面で \square / \square (半押し)を押すと、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠()が緑色に変化してロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。

※「フォーカス設定」(▶P.224)が「マクロ固定」「遠景固定」に設定されていると、フォーカスロックできません。

顔検出オートフォーカスについて

○ フォトモニター画面で人物の顔を検出すると、オートフォーカス枠が顔の位置に表示されます。複数の顔(最大5人)が検出された場合は、 \square を押すとオートフォーカス枠を表示する顔を選択できます。

○ 顔がフォトモニター画面の端にある場合や撮影状況などにより、顔を検出できない場合があります。

フォトが保存されるフォルダについて

○ データフォルダ内の「フォトフォルダ」の日付サブフォルダに保存されます。

※カメラモードで撮影した場合で、microSDメモリーカードがセットされているときは、自動的にmicroSDメモリーカード内のデータフォルダの「カメラフォルダ」に保存されます。

フォトを連写する

1回の撮影で連続した4枚/9枚のフォトを撮影できます。

1 「フォト(壁紙モード)」のフォトモニター画面(▶P.220)

→ \square (サブメニュー)→[連写設定]

2 [連写起動]→[ON(連写モード)]

3 \odot (撮影) / \square

連続撮影したフォトがサムネイル画面に表示されます。

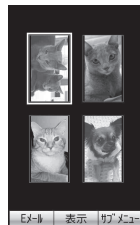
- ・「連写速度」で「マニュアル」を選択した場合は、 \odot (撮影)を連続で押してください。 \square (完了)を押すと、サムネイル画面にシャッターを押した数だけのフォトが表示されます。

4 \odot でフォトを選択→ \odot (表示)

5 \odot (保存)

表示中のフォトを保存してサムネイル画面に戻ります。

保存したフォトには、サムネイル画面に \square が表示されます。



《サムネイル画面》

memo

- ◎「フォト(壁紙モード)」のフォトモニター画面で[Ⓜ] (サブメニュー)→[連写設定]→[連写速度]/[連写枚数]と操作すると、連写速度(「はやい」「ふつう」「おそい」「マニュアル」)や連写枚数(「9枚」「4枚」)を設定できます。ただし、フォトサイズによって設定できる連写速度と連写枚数は異なります。

壁紙(標準)	連写速度	「はやい」「ふつう」「おそい」「マニュアル」
	連写枚数	「9枚」「4枚」
壁紙(ワイド) /壁紙(フルワイド)	連写速度	「おそい」「マニュアル」
	連写枚数	4枚固定(変更できません)

ムービーを録画する

1 待受画面で[📷] (1秒以上長押し)

→ [📷] ([📷] ⇄ [📷])

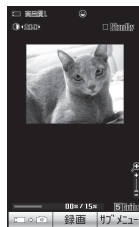
ムービーモニター画面が表示されます。

📷:ズームイン/ズームアウト(ズームの倍率と段数については、「カメラ」(▶P.342)をご参照ください。)

📷:明るさの調整(「+2.0」~「-2.0」まで調節できます。)

[5]:キー操作ガイドの表示ON/OFF

[▶]:モバイルライトON/OFF



〈ムービーモニター画面〉

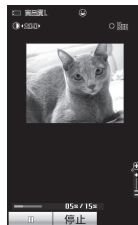
2 (録画) / [📷]

録画中画面が表示されます。録画中に次の操作ができます。

📷:ズームイン/ズームアウト

📷:明るさの調整

[⏸] / [⏹]:録画を一時停止/解除



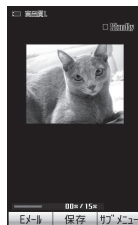
〈録画中画面〉

3 (停止) / 録画時間経過

ムービープレビュー画面が表示されます。

[🔍] → [再生]で保存する前のムービーを確認できます。

📷:音量調節(ムービー再生時)



〈ムービープレビュー画面〉

4 (保存) / [📷]

本体内またはmicroSDメモリカード内のデータフォルダに保存されます。

memo

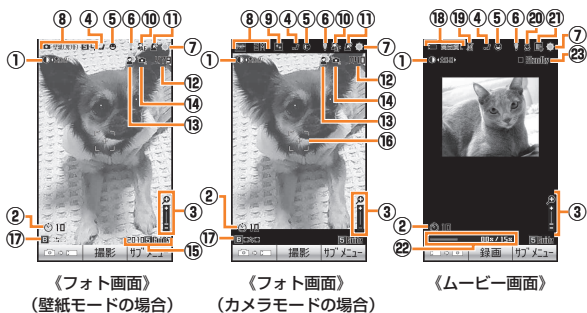
- ◎録画中に本体を閉じると、録画が終了します。
- ◎着信などにより録画が中断された場合は、着信前までのムービーがデータフォルダに保存されます。ただし、録画モードが「高品質」の場合は、着信前までのムービーのプレビュー画面が表示されます。
- ◎ムービープレビュー画面やそのサブメニュー画面で約1分間何も操作しないと、撮影したムービーを一時的に保存して、カメラが終了します。次回カメラを起動したときに、ムービープレビュー画面が表示されます。

ムービーが保存されるフォルダについて

◎ データフォルダ内の「ムービーフォルダ」の日付サブフォルダに保存されます。

※ 録画モードが「QVGA」「VGA」で撮影した場合、microSDメモ리카ードがセットされているときは、自動的にmicroSDメモ리카ード内のデータフォルダの「ムービーフォルダ」に保存されます。ただし、microSDメモ리카ードに空き容量がない場合は、自動的に本体内のデータフォルダに保存されます。

カメラ画面の見かた



共通のアイコン

- ① 明るさ調整アイコン:
- ② セルフタイマーアイコン:
- ③ ズームアイコン:
- ④ GPS情報アイコン:
- ⑤ 保存向きアイコン:
撮影時にが正しい向きになるように撮影してください。
- ⑥ モバイルライトアイコン:
- ⑦ ホワイトバランスアイコン: (太陽光) (くもり)
 (蛍光灯(昼光色)) (蛍光灯(昼白色)) (白熱灯)
非表示(オート)

■ フォトモニター画面に表示されるアイコン

- ⑧ 撮影モードアイコン: (壁紙モード) (カメラモード)
 フォトサイズアイコン: (壁紙(標準))
 連写(標準)(壁紙(標準)連写モード) (壁紙(ワイド))
 連写(ワイド)(壁紙(ワイド)連写モード) (壁紙(フルワイド))
 連写(フルワイド)(壁紙(フルワイド)連写モード) (0.3M) (1M)
 2M (2M) (2.5M(フルワイド)) (3M)
 ・ 連写モードアイコンの右側には、連写速度のアイコン((はやり) (ぶつう) (おそい) (マニュアル))と連写枚数が表示されます。
- ⑨ 画質設定アイコン: (ファインモード)
- ⑩ フォーカス設定アイコン: (顔検出オートフォーカス)
 AF (オートフォーカス) (マクロ固定) (遠景固定)
- ⑪ 撮影シーンアイコン: 非表示(OFF) (美肌) (美白)
 (日焼け) (風景) (夜景) (ナイト) (グルメ)
 (パーティー) (あ(文字)) (雪) (あざやか) (あっさり)
- ⑫ 撮影可能残り枚数: 999
- ⑬ 逆光補正アイコン:
- ⑭ 手振れ軽減アイコン:
- ⑮ 日付スタンプ
- ⑯ オートフォーカス枠
- ⑰ 顔検出オートフォーカス枠移動ガイド:

■ ムービーモニター画面／ムービー録画中画面／ムービープレビュー画面に表示されるアイコン

- ⑱ 録画サイズアイコン: (高品質L) (QVGA)
 VGA (VGA)
- ⑲ 音声なしアイコン:
- ⑳ マクロモードアイコン:
- ㉑ 色調調整アイコン: 非表示(標準) (あざやか) (あっさり)
- ㉒ 時間の目安:
 ムービーモニター画面では録画可能時間の目安、ムービー録画中画



面では録画経過時間と録画可能時間の目安、ムービープレビュー画面では再生経過時間と全再生時間の目安を表示

- ② 録画状況／再生状況アイコン：■ Standby(スタンバイ) ● Rec(録画中)
 || Pause(一時停止中) ▶ Play(再生中)

モニター画面でできること

- 1 フォトモニター画面(▶P.220)／
 ムービーモニター画面(▶P.221)で [A] (サブメニュー)

2	フォトサイズ	▶P.224「フォトサイズを設定する」
	録画モード	▶P.224「ムービーの録画モードを設定する」
	撮影モード	撮影モードを選択します。 「フォト(壁紙モード)」 「フォト(カメラモード)」 「ムービー」 <ul style="list-style-type: none"> ☐ (P.101 ⇨ P.102) / (P.101 ⇨ P.102) を押してフォト／ムービーを切り替えたり、フォトモニター画面で [1] を押して壁紙モード／カメラモードを切り替えることもできます。
	撮影シーン	撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な明るさなどの撮影条件が設定されます。 「OFF」 「美肌」 「美白」 「日焼け」 「風景」 「夜景」 「ナイト」 「グルメリ」 「パーティー」 「文字」 「雪」 「あざやか」 「あっさり」
	日付スタンプ	撮影したフォトに日付を入れるかどうかを設定します。 「ON」 「OFF」 「文字色設定」
	フレーム	あらかじめフレームを表示して撮影します。 「オリジナル」 「データフォルダ」 「フレームなし」
	録画音声	録画時に音付きで録画するか、音なしで録画するかを設定をします。 「音声あり」 「音声なし」

GPS情報	次に撮影するフォト／ムービーにGPS情報を付加します。
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。
カメラ設定	▶P.224「カメラを設定する」
連写設定	▶P.220「フォトを連写する」
セルフタイマー	撮影時に設定した秒数が経過した後、撮影／録画を開始します。 「10秒」 「5秒」 「2秒」 「OFF」 <ul style="list-style-type: none"> セルフタイマーのカウントダウンを中止してやり直す場合は、 を押します。 (中止) を押すと、撮影を中止してセルフタイマーの設定が「OFF」に戻ります。
ホワイトバランス	被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にした色の調整ができます。 「オート」 「太陽光」 「くもり」 「蛍光灯(昼光色)」 「蛍光灯(昼白色)」 「白熱灯」 <ul style="list-style-type: none"> モニター画面で [≡] を押してもホワイトバランスを設定できます。
撮影データ確認	データフォルダに保存されたフォトやムービーを確認できます。
フォルダ使用状況	データフォルダとmicroSDメモリーカードの使用状況と使用率を表示します。
フォト画質	フォトサイズが1M、2M、2.5M(フルワイド)、3Mのときの画質を設定します。 「ファインモード」 「ノーマルモード」

※表示される項目は、画面によって異なります。



memo

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ フォトサイズを設定する

フォトサイズを選択できます。壁紙モード/カメラモードによって選
択できるフォトサイズは異なります。

1 フォトモニター画面(▶P.220)→**[A]**(サブメニュー) →[フォトサイズ]

■ 壁紙モードの場合

2 壁紙(標準)	携帯電話へEメール送信するのに適した撮影 モードです。
壁紙(ワイド)	横480ドット×縦800ドットの大きさで撮 影できるモードです。
壁紙 (フルワイド)	E08Tの画面サイズで撮影できるモードで す。

■ カメラモードの場合

2 0.3M	パソコンで表示するのに適した撮影モードで す。
1M	L判サイズできれいにプリントできます。
2M	2L判サイズできれいにプリントできます。
2.5M (フルワイド)	フルワイドサイズで撮影できるモードです。
3M	A4サイズできれいにプリントできます。

memo

○フォトモニター画面で**[A]**を押してフォトサイズを切り替えることもでき
ます。

■ ムービーの録画モードを設定する

1 ムービーモニター画面(▶P.221)→**[A]**(サブメニュー) →[録画モード]

2 高品質L	au電話(Wシリーズなど)や3G携帯電話へ送 信するのに適した録画モードです。
QVGA	E08Tで表示するのに適した録画モードで す。長時間撮影に向きます。
VGA	E08Tで表示するのに適した録画モードで す。QVGAより高画質です。

memo

○ムービーモニター画面で**[A]**を押して録画モードを切り替えることもでき
ます。

■ カメラを設定する

1 フォトモニター画面(▶P.220)/ ムービーモニター画面(▶P.221)で**[A]**(サブメニュー) →[カメラ設定]

2 フォーカス設定	ピント位置を設定します。 「顔検出オートフォーカス」「オートフォーカ ス」「マクロ固定」「遠景固定」 ・「顔検出オートフォーカス」に設定すると、 顔の位置に表示されたオートフォーカス枠 を使って、撮影時に自動的にピントを合わ せることができます。複数の顔(最大5人) が検出された場合は、 [8] を押すとオート フォーカス枠を表示する顔を選択できま す。 ・フォトモニター画面で [X] を押してもピン ト位置を設定できます。
-----------	---

マクロ切替	マクロモードと通常モードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> マクロモードに設定した場合、約10cmまで被写体に近づいて撮影できます。 ムービーモニター画面で [X] を押しでも切り替えられます。
特殊効果	あらかじめ特殊効果を表示して撮影します。 「セピア」「白黒」「OFF」
プレビュー設定	高品質のムービーを録画した後に、自動的に再生するかどうかを設定します。 「自動再生」「手動再生」
色調調整	画像の彩度を調整することができます。 「標準」「あざやか」「あっさり」
シャッター音	フォトのシャッター音を選択します。 「カシャ!」「シャララーン」「ハイチーズ カシャ!」「3・2・1 カシャ!」
録画開始/終了音	ムービーのシャッター音(録画開始/終了音)を選択します。 「電子音1」「電子音2」「撮影スタート/ストップ」「アクション/ハイOK」
アイコン表示	撮影時の設定情報を表示するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」 <ul style="list-style-type: none"> 「OFF」に設定しても、一部のアイコンは表示されます。
拡大表示	拡大表示するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」 <ul style="list-style-type: none"> モニター画面で [O] を押しでも拡大表示を設定できます。
自動保存設定	フォトを撮影した後に、自動的に保存するかどうかを設定します。 「OFF」「ON」

地域設定	蛍光灯の近くなどで撮影する場合、現在の地域の周波数を設定して、画面のちらつき(フリッカー)などを軽減することができます。 「自動補正」「東日本(50Hz)」「西日本(60Hz)」
手振れ軽減	手振れを軽減するかどうかを設定します。 「OFF」「ON」
逆光補正	顔検出オートフォーカスで撮影する際、検出された顔がキレイに見えるように自動的に露出を調整するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」 <ul style="list-style-type: none"> フォトモニター画面で [7] を押しでも逆光補正を設定できます。
保存方向	フォト(カメラモード)で撮影する際、フォトを横長で保存するか、縦長で保存するかを設定します。 「横長」「縦長」 <ul style="list-style-type: none"> フォトモニター画面で [4] を押しでも保存方向を設定できます。

※表示される項目は、画面によって異なります。



memo

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

プレビュー画面でできること

フォトプレビュー画面でできること

1 フォトプレビュー画面(▶P.220)で [A] (サブメニュー)

2	日付スタンプ*	撮影したフォトに日付を付加します。 [ON][OFF][文字色設定]
	画像編集*	フォトを保存する前に加工できます。 ▶P.261「フォトを編集する」
	GPS情報	撮影したフォトにGPS情報を付加します。 ▶P.176「他の機能でGPS情報を付加するには」
	全保存*	連写モードで撮影した場合に、すべてのフォトを保存します。
	インデックス保存*	連写モードで撮影した場合に、すべてのフォトを1枚の壁紙(標準/ワイド/フルワイド)サイズに並べて保存します。 •「壁紙(標準)」の連写モードで撮影した場合は、「壁紙(標準)サイズ」「等倍サイズ」を選択します。 壁紙(標準)サイズ :1枚の壁紙サイズに並べて保存する。 等倍サイズ :すべてのフォトをそのままのサイズで1枚に並べて保存する。
	拡大表示*	拡大表示するかどうかを設定します。 [ON][OFF]
	タイトル編集*	撮影したフォトのタイトルを編集します。 • 全角20/半角40文字以内で入力できます。

*「フォト(壁紙モード)」のフォトプレビュー画面でのみ表示されます。

ムービープレビュー画面でできること


1 ムービープレビュー画面(▶P.221)で

[A] (サブメニュー)

2	再生	録画したムービーを保存する前に再生できます。
	プレビュー設定	高品質Lのムービーを録画した後に、自動的に再生するかどうかを設定します。 「自動再生」「手動再生」
	ムービー編集	テロップ編集 ▶P.262「ムービーのテロップを編集する」
		アフレコ編集 ▶P.263「ムービーの音声のみを録音し直す」
	拡大表示	拡大表示するかどうかを設定します。 [ON][OFF]
	GPS情報	録画したムービーにGPS情報を付加します。 ▶P.176「他の機能でGPS情報を付加するには」
	タイトル編集	録画したムービーのタイトルを編集します。 • 全角20/半角40文字以内で入力できます。

撮影したフォト／ムービーをEメールに添付する

撮影したフォト／ムービーを、Eメールに添付して送ることができます。

1 フォトプレビュー画面(▶P.220)／ムービープレビュー画面(▶P.221)で  (Eメール)

2 [Eメール]／[デコレーションアニメ]／
[デコレーションメール]

撮影したフォト／ムービーをデータフォルダに保存した後、フォト／ムービーを添付した状態のEメール作成画面／デコレーションアニメ作成画面／デコレーションメール作成画面が表示されます。



memo

◎GPS情報が付加されているフォト／ムービーを、Eメール／デコレーションメールに添付する場合は、GPS情報を表すURLがEメールの本文に付加されます。